取扱説明書

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が
起こることもあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

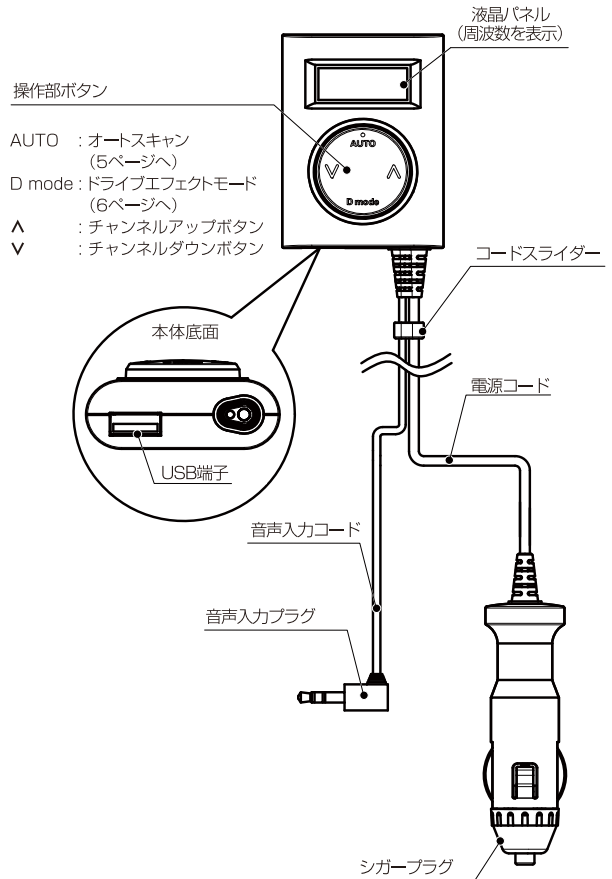
- **道路交通法に従って安全運転する**
  - ・運転中は絶対に本製品や接続機器を接続・設置・操作しないでください。
  - ・運転中に本製品や接続機器の画面を注視しないでください。
  - ・車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。
- **運転操作やエアバックシステムの作動を妨げる場所には設置しない**
  コード類はまとめ、車体可動部が正しく操作できることをご確認ください。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、においや損傷などがあったときは、すぐに安全な場所に車を止めてください。
  カーシガーソケットから本製品を抜き、お買い上げの販売店または当社サービスセンターに
  修理を依頼してください。
- **内部に水や異物を混入させない**
  感電や火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに安全な場所に車を止めて
  カーシガーソケットから本製品を抜き、お買い上げいただいた販売店、または
  オーディオテクニカ相談窓口にご相談ください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因となります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因となります。
- **本製品の対応機種以外には使用しない**
  火災やけがの原因となります。

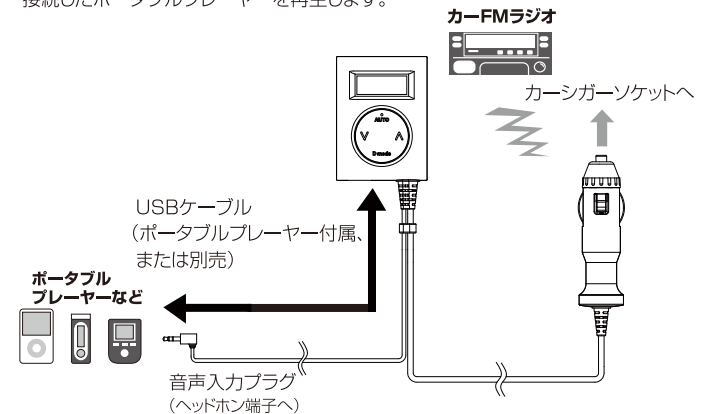
⚠注意

- **不安定な場所に設置しない**
  不安定な場所に取り付けると、本製品が動いたり落ちたりするなど事故やけがの原因となります。
- **本製品をカバーなどでおおった状態にしない**
  カバーや座布団など、熱がこもる状態で使用しないでください。
  本体の変形や火災の原因となります。
- **使用中の本製品に長時間触れない**
  通電中の本製品に、長時間皮膚が触れている状態が続くと低温やけどの原因となります。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本製品には電源スイッチがないため、使用後は必ずカーシガーソケットから外してください。
  車種によってはバッテリーが上がる原因となります。
- 本製品のシガープラグを、カーシガーソケットに挿入した状態で回転させないでください。
- 本製品は耐熱･耐寒設計になっておりますが、温度や湿度の高い場所（ダッシュボードやフロア
  カーペット上など）や直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所などには置かないでください。
  また、自動車内に放置しないでください。
- 本製品は長時間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や故障の原因になります。
- コードをポータブルプレーヤーや本製品などに巻き付けないでください。断線の原因になります。
- USB接続の際は、本製品と機器を直接接続してください。USBハブ、及びUSB延長ケーブルは使用
  しないでください。
- USBケーブル（ポータブルプレーヤーに付属別売）は、本製品のUSB端子、及び接続機器のUSB
  ポートの奥までまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと故障の原因になります。
- 本製品のUSB接続時に、万一充電する機器のデータなどが消失しても、当社では責任を負えません。
- カーシガーソケット内のタバコのヤニや汚れなどは、クリーニングしてからご使用ください。
- 本製品自体が傷んでいないか、本製品とカーシガーソケットの間にほこりがたまっていないか、または
  コード類が絡まっていないか、などを定期的に確認してください。
- 本製品の電源供給機能はポータブルプレーヤー専用です。それ以外の機器(携帯電話など)は
  接続しないでください。

各部の名称

使いかた

① 本製品のシガープラグをカーシガーソケットへ接続します。
（本製品の液晶パネルがオレンジ色に点灯します。）
② 本製品の音声入力プラグをポータブルプレーヤーのヘッドホン端子へ接続します。
③ 本製品のAUTOボタンを長押しします。
周辺のFM放送局の中から、ノイズの少ない最適な周波数を自動で選局し表示します。
（詳しくは5ページの「オートスキャン機能について」をご確認ください。）
④ カーFMラジオの電源を入れ、受信周波数を本製品に表示された周波数と合わせ、
接続したポータブルプレーヤーを再生します。

※ 本製品は使用後、前回使用時のFM周波数とドライブエフェクトモードの状態を
保存します。再び使用する際には、前回使用時の状態が液晶画面に表示されます。
※ USB端子で充電するには「USB充電機能について」をご確認ください。

⚠注意

- カーFMラジオ以外ではご使用になれません。
- 本製品の電源供給機能はポータブルプレーヤー専用です。それ以外の機器（携帯電話など）は
  接続しないでください。
- 本製品には電源スイッチがないため、使用後は必ずカーシガーソケットから外してください。
  車種によってはバッテリーが上がる原因となります。
- 分配/ 延長ソケットを使用した場合、設置場所により受信時のノイズの出方が変わる場合があります。
  ノイズの少ない設置場所を選んでご使用ください。
- 安定した受信状態を得るために、コードは伸ばしてご使用ください。

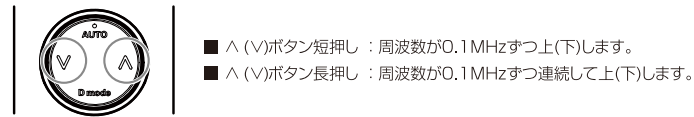
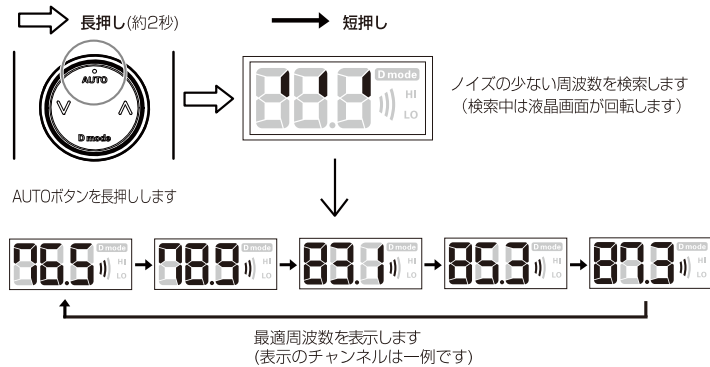
オートスキャン機能について

本製品がFM電波を直接受信し、周囲環境の中からノイズの少ないチャンネル【最適周波数】を自動で選び出し液晶パネルに表示します。

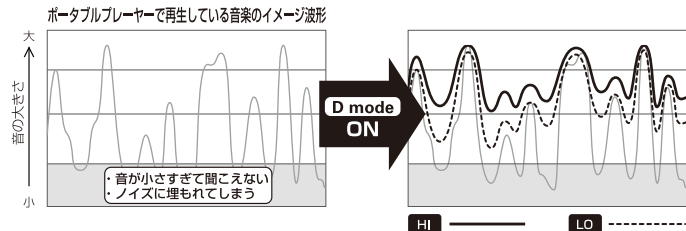
■ AUTOボタン長押し（約2秒）：周辺のFM周波数帯の中から音楽再生に最適なノイズの少ない周波数5チャンネルを選び、その中から周波数が一番小さいチャンネルを表示します。

■ AUTOボタン短押し：AUTOボタン長押しで選び出した5チャンネルを順送りします。周波数の小さいチャンネルから順に表示されます。

■ ∧(∨)ボタン短押し：周波数が0.1MHzずつ上(下)します。

■ ∧(∨)ボタン長押し：周波数が0.1MHzずつ連続して上(下)します。

※ オートスキャン機能は周囲の環境や場所によって、FM放送が流れているチャンネルを選ぶことがあります。その際はAUTOボタンの短押しで別の周波数を選択してください。

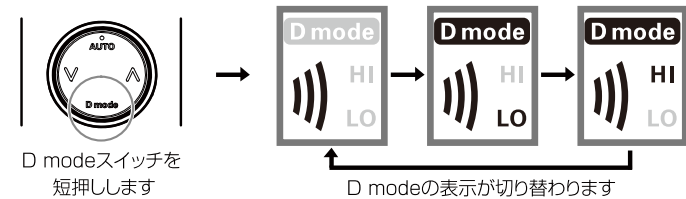
ドライブエフェクトモード(D mode)について

ドライブ時にかき消されやすい小さな音を持ち上げ、音を明瞭にする2種類の音質モードです。

OFF：エフェクト効果のない通常の音質です。

LO：ロードノイズや風切り音がうるさい場合に使用。聞こえにくい小さな音を持ち上げ、音を明瞭にします。

HI：音楽の迫力を出したい場合に使用。小さな音をさらに持ち上げ、パワフルサウンドを実現します。

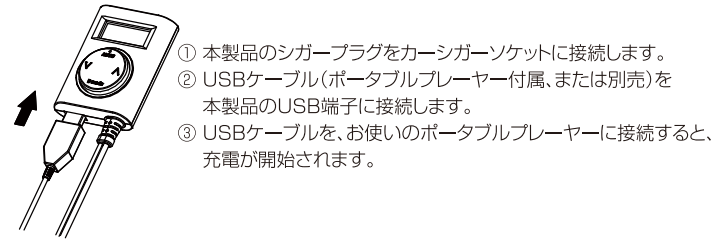
※ FM電波のノイズを抑えるものではありません。FM電波にノイズが入る場合は、FM周波数を切り替えるか、ポータブルプレーヤーの設置場所を変える、またはその場から移動するなどしてください。

■ドライブエフェクトモード(D mode)の使いかた

ドライブエフェクトモードを変更するには、D modeスイッチを短押しすることでOFF → LO → HI → OFF …の順で切り替わります。

USB充電機能について

本製品は、USB端子でポータブルプレーヤーの充電を行なうことができます。

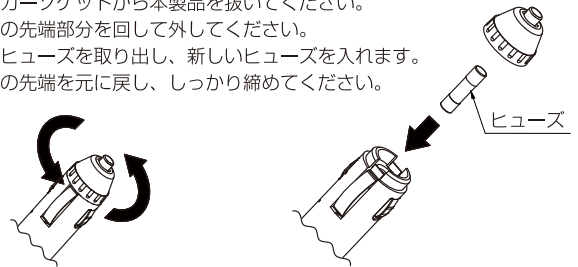
※ 本製品にUSBケーブルは付属されておりません。

① 本製品のシガープラグをカーシガーソケットに接続します。
② USBケーブル（ポータブルプレーヤー付属、または別売）を本製品のUSB端子に接続します。
③ USBケーブルを、お使いのポータブルプレーヤーに接続すると、充電が開始されます。

⚠注意

- 充電する際は、ポータブルプレーヤーの取扱説明書も必ずお読みください。
- USB端子はポータブルプレーヤーの電源供給、充電専用です。音声入力ではありません。
- パソコンでの認証が必要、及び充電中に再生できないなど、一部対応できない機種があります。

ヒューズの交換のしかた

ヒューズが切れてしまった場合には、市販の交換ヒューズとお取り替えください。

① カーシガーソケットから本製品を抜いてください。
② プラグの先端部分を回して外してください。
③ 切れたヒューズを取り出し、新しいヒューズを入れます。
④ プラグの先端を元に戻し、しっかり締めてください。

⚠注意

- ヒューズを針金などで代用しないでください。
- 交換ヒューズの種類は 1A250V です。それ以外は使用できません。

故障かなと思ったときは・・・

Q. 音楽が送信できない。液晶画面が点灯しない

A1. シガープラグがしっかり奥まで差し込まれているか確認してください。液晶画面が点灯しない場合は、ヒューズが切れている場合があります。ヒューズの交換方法は、「ヒューズの交換のしかた」をご覧ください。

Q. ノイズが出る

A1. 本製品は電波法に基づいた微弱電波出力機器です。そのため、強い電波が出ている電波塔や自動ドアの付近、屋内駐車場やトンネルなど、コンクリートや鉄材で遮閉された場所ではノイズが出る場合があります。その場合は、周波数を変えるか、その場所から移動するなどしてください。

A2. 受信感度が低いカー FM ラジオでもノイズが出る場合があります。その場合は差し込み方向を変えるなどしてください。

A3. 真夏日などの炎天下、車内が高温になるとノイズが出る場合があります。その場合は車内の温度調整を行なってください。

A4. 再生と USB 充電を同時に行なっている際には、ノイズが出る場合があります。その場合は USB ケーブルを抜いてください。

Q. 音が歪む

A1. ポータブルプレーヤーのボリュームを調整してください。

Q. 音が小さい

A1. ポータブルプレーヤー及びカー FM ラジオのボリュームを調整してください。

＊ 上記の点が改善されない場合は、下記当社相談窓口までご連絡ください。

テクニカルデータ

項目	仕様
電源	DC12V/24V
送信周波数	76.0MHz ～ 90.0MHzのうち1波を選択(0.1MHzステップ)
入力端子	φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ(L型)
音声入力コード長	0.2m
電源コード長	0.8m
入力インピーダンス	100Ω
送信時電流	35mA
最大外形寸法(突起部、コードは除く)	約H67×W49×D18mm
質量(コード含む)	約75g
USB端子	A-TYPE
出力電圧	5V
出力電流(最大)	500mA

（改良などのため、予告なく変更することがあります。）

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

お問い合わせ先（電話受付/平日9：00～17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口及びホームページの「サポート」までお願いします。
●相談窓口（製品の仕様・使いかた）0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（修理・部品）0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

162406130